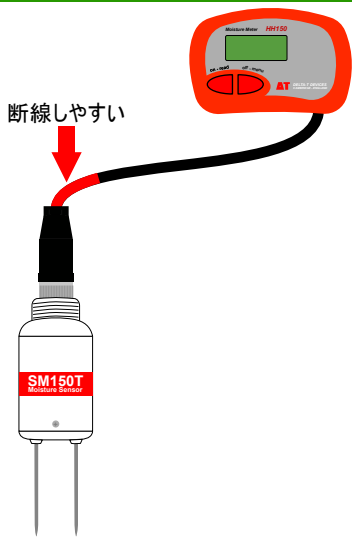
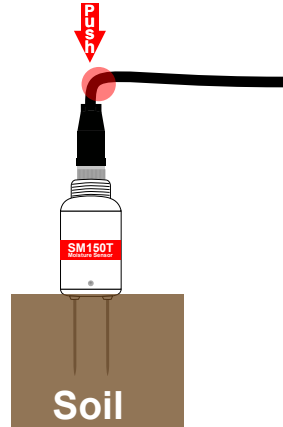


Methods to Prevent Damage to Electrical Wires

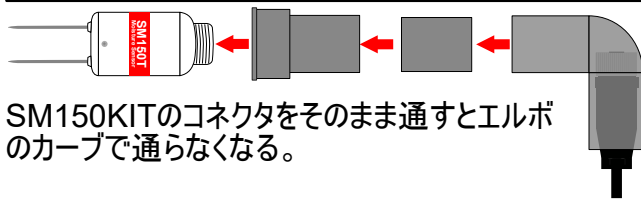


SM150KIT、Theta-KITなどの持ち運び用土壌水分センサーを使うとき
 累積される計測点が多点になり、かつ硬い土壌にも度々遭遇するのでコネクタ近
 傍のケーブルに屈曲する力が入り、赤丸部分のケーブルの断線が生じることがありま
 す。無意識に下記のような差し込み方をしていることが原因です。



Preparation

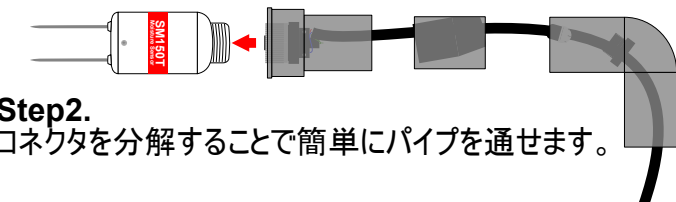
Delta-T社のML3、SM150T、Wet150のケーブル側にはネジが切られています。このネジは日本の水道用蛇口のネジ規
 格G1/2(立水栓)とぴったり合います。このネジを使って塩ビソケットを簡単にセンサーに装着することができます。VP20サ
 イズを使えば丁度良い塩梅でケーブルのプロテクターが完成します。自作も可能ですし、申し付けくだされば有償で作成しま
 す。



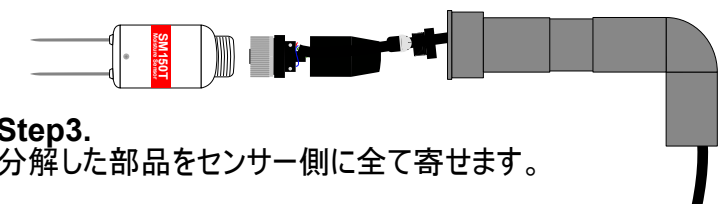
SM150KITのコネクタをそのまま通すとエルボ
 のカーブで通らなくなる。



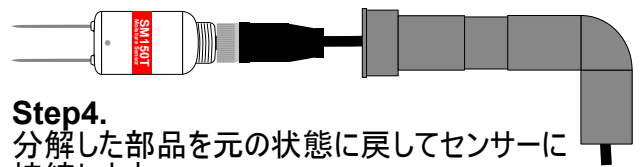
Step1.
 コネクタを分解します。矢印部のネジを回せば簡単に分解
 可能。



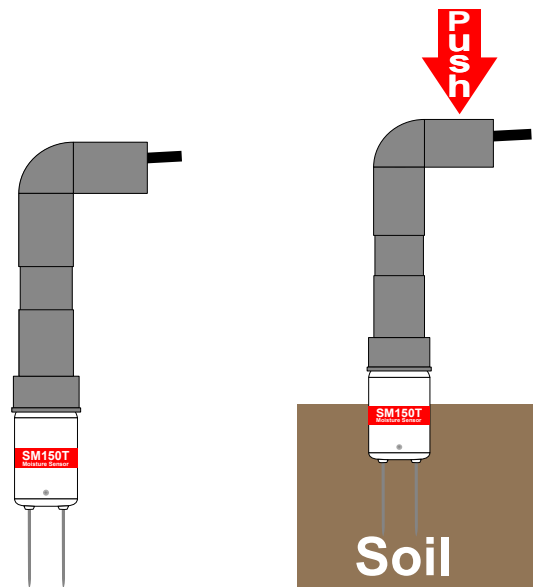
Step2.
 コネクタを分解することで簡単にパイプを通せます。



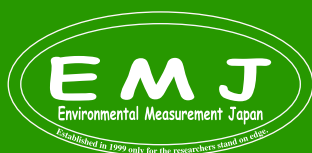
Step3.
 分解した部品をセンサー側に全て寄せます。



Step4.
 分解した部品を元の状態に戻してセンサーに
 接続します。



Step5.
 最後にソケットをセンサーに装着して完了。これでケーブ
 ルがパイプに守られるため断線の可能性は軽減されま
 す。センサーを差し込むのも簡単に行えます。



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

福岡県福岡市東区高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

FAX:092-985-7844